

令和 2 年度

北空知地域医療介護確保推進協議会 第 1 回会議（書面会議）議案

医療や介護が必要になっても
住みなれた自宅や地域で
自分らしく暮らしたい。
～その想いをかなえるために支援を行います～



令和 2 年 6 月 1 5 日

目 次

1. 北空知地域医療介護確保推進協議会	1
2. 北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議	3
3. I 医療・介護情報共有支援部会事業報告	9
4. II 退院調整・在宅生活支援部会事業報告	12
5. III 多職種連携・地域啓発部会事業報告	19
6. I 医療介護相談・在宅生活支援部会事業計画	27
7. II 多職種連携・地域啓発部会事業計画	30
8. 令和元年度北空知地域医療介護連携支援センター事業 (地域医療・介護連携推進事業)決算 令和元年度地域リハビリテーション活動支援事業 決算	33
9. 令和2年度北空知地域医療介護連携支援センター事業 (地域医療・介護連携推進事業)予算(案) 令和2年度地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)	34

令和2年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 第1回会議議案

北空知地域医療介護確保推進協議会

○設置目的

北空知1市4町（深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町及び沼田町）間で、平成28年3月18日に締結した「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定書」に基づく広域事業の実施について協議するために、関係市町、深川保健所、深川医師会、深川市立病院、深川地区消防組合、介護サービス事業者等の関係機関・団体に構成する「北空知地域医療介護確保推進協議会」を設置する。

○協議事項

広域的に実施する次に掲げる地域医療・介護に係る連携推進事業について協議する。

- (1) 救急医療及び地域医療の確保と連携推進に関する事業
- (2) 在宅医療・介護の連携推進に関する事業
- (3) 認知症施策の連携推進に関する事業
- (4) 介護及び生活支援サービスの確保と連携推進に関する事業
- (5) その他地域医療及び介護サービスの確保と連携推進に関する事業

《令和元年度事業報告》

1. 開催計画

- ・協議会の定期開催は6月を予定し、その他必要に応じて開催することとします。

2. 開催状況

○第1回会議 令和元年6月24日（月）18:00～19:25 市立病院
出席者32名（協議会委員、運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長ほか）

・協議・確認事項

- (1) 平成30年度事業報告及び決算報告について
- (2) 令和元年度事業計画（案）及び予算（案）について
- (3) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
- (4) 深川市立病院新改革プランの実施状況に関する点検・評価について
- (5) その他について

※協議・確認事項は事務局提案どおり承認・了承され、議事終了後、情報・意見交換を行った。

3. 協議会構成員（平成31年4月～令和2年3月）

役職	所属団体・役職	氏名	備考
会長	深川市長	山下 貴史	
副会長	深川医師会会長	林 憲雄	深川第一病院院長
委員	妹背牛町長	田中 一典	
	秩父別町長	澁谷 信人	
	北竜町長	佐野 豊	

	沼田町長	金平嘉則 ↓ 横山茂	5月に交代
	深川保健所長	谷田光弘	
	深川市立病院長	藤澤真	
	深川地区消防組合消防長	野弘道	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永倉隆太郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大西道祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	林憲雄 ↓ 中神宏司	※1 深川第一病院院長 5月に交代 ↓ 中神歯科医院院長

※1の団体の代表の委員は2年任期（平成30年度～令和元年度）

《令和2年度事業計画》

1. 令和2年度事業計画

- ・協議会の定期開催は6月を予定し、その他必要に応じて開催することとします。

2. 協議会構成員（令和2年4月～令和3年3月）

役職	所属団体・役職	氏名	備考
会長	深川市長	山下貴史	
副会長	深川医師会会長	林憲雄	深川第一病院院長
委員	妹背牛町長	田中一典	
	秩父別町長	澁谷信人	
	北竜町長	佐野豊	
	沼田町長	横山茂	
	深川保健所長	谷田光弘	
	深川市立病院長	藤澤真	
	深川地区消防組合消防長	野弘道	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永倉隆太郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大西道祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	中神宏司	※1 中神歯科医院院長

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和2年度～令和3年度）

北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議

○設置目的

協議会を円滑に運営するため、協議会の委員が所属する機関・団体の担当で構成する運営会議を設置する。

○協議内容

- (1) 協議会の検討課題と事業の調整
- (2) 救急医療体制の維持・確保
- (3) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (4) 在宅医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (5) 地域リハビリテーション活動支援事業の企画立案と進行管理
- (6) 認知症対策事業の検討
- (7) その他地域医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (8) 各市町地域包括支援センターとの連携調整
- (9) 協議会関係団体・組織との連絡調整
- (10) 専門部会の連絡調整

《令和元年度事業報告》

1. 令和元年度事業計画

- ・協議会設立4年目となることから、運営会議において、PDCAサイクルの考え方にに基づき、これまで3年間の協議会事業全体の進捗状況を確認し、その成果と課題を整理し、今後の課題への対応策を検討する。
- ・特に、各専門部会の協議でも年々懸念が高まってきている、北空知管内の急速な人口減少と高齢化に伴う医療・介護サービスの担い手不足に対する対応策について重点的に協議することとする。

2. 関係会議等開催状況

○第1回正副座長・部会長等会議

平成31年4月16日(火) 18:00～18:45 市立病院

出席者15名(運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員等)

- ・人事異動等で役員等が交代したため、今年度の事業を始動させるにあたって、平成30年度事業報告・平成31年度事業計画(案)等についての内容等を確認し合うとともに、平成31年度の各会議体の構成、事業の年間スケジュールの調整、運営会議の重点協議事項について協議した。

○第1回運営会議 令和元年5月17日(金) 15:00～17:00 市立病院

出席者22名(運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長)

- ・協議・確認事項

- (1) 北空知地域医療介護確保推進協議会の議案について
 - ・平成30年度事業報告・決算、令和元年度事業計画(案)・予算(案)、事業報告説明資料
- (2) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
- (3) 北空知地域医療介護確保推進協議会の開催について
- (4) 運営会議の重点協議事項について

※協議会に提出する議案等を協議するとともに、協議会のこれまでの取り組みの確認と意見交換を行い、次回以降、協議会事業の進捗状況を確認し、成果と課題を協議し、今後の対応策を検討して

いくことになった。
<p>○第2回運営会議 令和元年8月28日(水) 10:00～11:45 深川市健康福祉センター 出席者19名(運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 協議会事業の進捗状況確認、成果と課題について</p> <p>(ア) 地域の医療・介護の資源の把握 (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援 (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (カ) 医療・介護関係者の研修 (キ) 地域住民への普及啓発 (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携</p> <p>※7月～8月にかけて、運営会議メンバーに「在宅医療・介護連携推進8事業」「地域リハビリテーション活動支援事業」「認知症初期集中支援事業(認知症施策の検討)」「休日・夜間救急医療体制の維持・確保」「医療・福祉・介護人材の確保」12事業について、その進捗状況、現状と課題、今後の方針を照会し取りまとめた「意見交換シート」を基に、在宅医療・介護連携推進事業の8事業について協議した。</p>
<p>○第3回運営会議 令和元年10月4日(金) 10:00～12:00 深川市健康福祉センター 出席者19名(運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 協議会事業の進捗状況確認、成果と課題について</p> <p>・地域リハビリテーション活動支援事業 ・認知症初期集中支援事業(認知症施策の検討) ・休日・夜間救急医療体制の維持・確保 ・医療・福祉・介護人材の確保</p> <p>※「意見交換シート」を基に、残り4事業について協議を行い、課題として挙げられた専門部会の事業内容の整理と再編については、事業を委託している1市4町の担当課長等会議で検討することになった。</p>
<p>○第1回地域医療・介護担当課長等会議 令和元年10月24日(木) 9:30～10:45 沼田町健康福祉総合センター 出席者9名(1市4町担当課長等、運営会議事務局員)</p> <p>・専門部会の事業内容の整理、再編、役員の選出方法等や、運営会議のあり方、人材確保について協議した結果、専門部会で協議することが難しい課題については運営会議が担うこととし、協議会事業は介護保険事業計画の3年間に合わせたPDCAサイクルとし、専門部会の再編等については正副専門部会長・事務局会議で具体的に検討してもらうことになった。</p> <p>また、「地域医療・介護連携推進事業」と「地域リハビリテーション活動支援事業」の次年度の委託料についての見直しを協議した。</p>
<p>○第1回正副専門部会長・事務局会議 令和元年11月21日(木) 10:00～11:40 秩父別町役場 出席者8名(正副部会長、運営会議事務局員)</p> <p>・専門部会のあり方について、現在の3部会4小部会1会議の体制を、2部会4小部会1会議および必要に応じてプロジェクトチームを設置する体制に再編し、部会・小部会等の担当事務事業、部会・小部会の構成員、役員担当の市町・機関団体を見直ししてはどうかとの協議となり、12月に開催する部会、小部会に考えを示し意見等を聞いたうえで再編案をまとめ、地域医療・介護担当課長等会議、運営会議へ報告することになった。</p>
<p>○第2回正副専門部会長・事務局会議 令和元年12月25日(水) 10:00～12:05 秩父別町役場 出席者9名(正副部会長、運営会議事務局員)</p> <p>・各部会、小部会での協議を集約し、専門部会等の見直し再編案を取りまとめた。専門部会等は、2部会4小部会1会議およびプロジェクトチームを設置する体制とし、部会の設置期間を3年間とし、3年ごとに見直し再編する案を報告することになった。</p>
<p>○第2回地域医療・介護担当課長等会議 令和2年1月23日(木) 9:55～10:55 深川市健康福祉センター 出席者10名(1市4町担当課長等、運営会議事務局員)</p>

・正副専門部会長・事務局会議の協議報告を受け、専門部会等の見直し再編案および運営会議の事業計画案について協議し、運営会議に提案することになった。

○第4回運営会議 令和2年2月26日(水) 10:00~11:00 市立病院
出席者17名(運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長)

・協議・確認事項

- (1) 専門部会等の見直し再編について
- (2) 今年度事業のまとめと次年度の取組について
- (3) ICT活用情報共有ツールの導入について

※専門部会等について、2部会4小部会1会議に再編し、ICT活用情報共有ツール導入に向けてプロジェクトチームを設置することを決定するとともに、協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案を取りまとめ、今年度事業のまとめと次年度の取組について協議した。

※ このほか、事業の進捗状況等については、事務局から随時メール等で報告を行った。

3. 運営会議構成員(平成31年4月~令和2年3月)

役職	所属団体・役職	氏名	備考
座長	深川市高齢者支援課長	伊藤 美恵子	
副座長	深川保健所次長	勇崎 比呂志	
委員	深川医師会事務長	高田 智之	
	深川市立病院事務部長	吉田 博昭	
	社会福祉法人揺籃会理事	遊佐 英樹	※1 清祥園
	社会福祉法人北海道中央病院理事	藁口 亮	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	佐々木 大樹	※1 老健りふれ
		↓	5月交代
		高橋 都	※1 ライフマップ深川
	深川地区消防組合深川消防署副署長・指令救急課長	小林 正樹	
	妹背牛町住民課長	清水野 勇	
	妹背牛町健康福祉課長	河野 和浩	
	秩父別町住民課長	早川 聡	
	北竜町住民課長	東海林 孝行	
	北竜町地域包括支援センター長	南 祐美子	
沼田町保健福祉課長	黒田 美和		
深川市健康福祉課長	米澤 弘美		

※1の団体の代表の委員は2年任期(平成30年度~令和元年度)

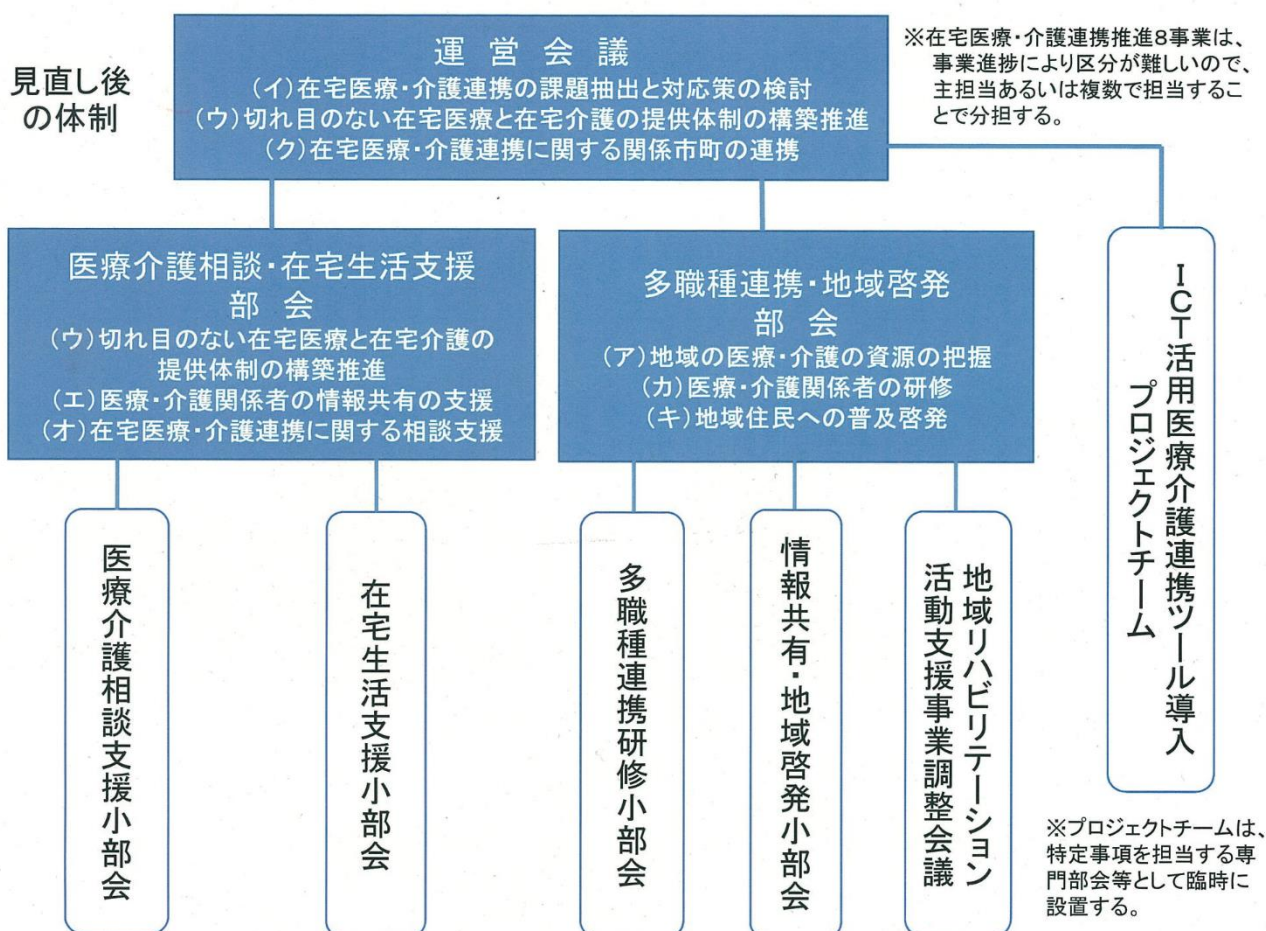
《事務局体制》

	所属団体・役職等	氏名	備考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室室長	村澤 眞由美	副センター長
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆博	事務局長
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤原 智美	事務局員
	深川市立病院地域連携室地域連携係主査	尾中 康晴	事務局員
市町行政部局	沼田町保健福祉課主幹	按田 義輝	多職種連携・地域啓発部会担当 ※1
	深川市高齢者支援課課長補佐	北垣 千絵	退院調整・在宅生活支援部会担当
	深川市健康福祉課主幹	本多 孝二	医療・介護情報共有支援部会担当

※1の事務局員は4町で2年交代(平成30年度~令和元年度)

専門部会等の見直し再編

- ・協議会事業4年間の進捗状況を踏まえ、これまでの3部会4小部会1会議の体制を、2部会4小部会1会議の体制に見直し再編することとする。
- ・今後、部会等の設置期間は、介護保険事業計画及び医療計画の期間を踏まえ、3年間（令和2年度～4年度）とし、3年ごとに設置する部会、部会長等の役員、構成員等を見直し再編するものとする。
- ・ICT活用情報共有ツールの導入にあたっては、プロジェクトチームを臨時に設置し取り組む。



2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
	第7期計画			第8期計画		第9期計画
	協議会事業見直し	市町計画見直し		協議会事業見直し	市町計画見直し	
			専門部会設置期間			専門部会設置期間
	第7次医療計画					第8次医療計画

※介護保険事業計画及び医療計画の期間を踏まえ、協議会事業は3年間のPDCAサイクルで進める。

《令和2年度事業計画》

○設置目的

協議会を円滑に運営するため、協議会の委員が所属する機関・団体の担当で構成する運営会議を設置する。

○協議内容

- (1) 協議会の検討課題と事業の調整
- (2) 救急医療体制の維持・確保
- (3) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (4) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進（追加）
- (5) 在宅医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (6) 地域リハビリテーション活動支援事業の企画立案と進行管理
- (7) 認知症対策事業の検討
- (8) 医療・福祉・介護人材の確保の検討（追加）
- (9) その他地域医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (10) 各市町地域包括支援センターとの連携調整
- (11) 協議会関係団体・組織との連絡調整
- (12) 専門部会の連絡調整

1. 令和2年度事業計画

- ・昨年度取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題について重点的に協議することとする。
- ① ICT活用情報共有ツールの導入
 - ・医療・介護情報共有支援部会の調査研究結果を踏まえ、導入に向けて運営会議の下にプロジェクトチームを設置し検討する。
- ② 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
 - ・在宅医療・介護に関するアンケート調査結果（平成30年度）を踏まえ、急変時診療体制、夜間・休日診療体制および在宅での支援体制について検討する。
- ③ 医療・福祉・介護人材の確保
 - ・深刻化する医療・介護・福祉職員の人材確保について、現状を調査把握し対応策を検討する。

2. 運営会議構成員（令和2年4月～令和3年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	伊 藤 美恵子	
副座長	深川保健所次長	住 友 義 昭	
委 員	深川医師会事務長	高 田 智 之	
	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	
	社会福祉法人揺籃会理事	遊 佐 英 樹	※1 清祥園
	社会福祉法人北海道中央病院理事	藁 口 亮	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 都	※1 ライフマップ深川
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山 崎 達 也	
	妹背牛町住民課長	清 水 野 勇	
妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩		

	秩父別町住民課長	竹内 剛	
	北竜町住民課長	東海林 孝行	
	沼田町保健福祉課長	黒田 美和	
	深川市健康福祉課長	米澤 弘美	

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和2年度～令和3年度）

《事務局体制》

所属団体・役職等		氏名	備考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室室長	村澤 眞由美	副センター長
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆博	事務局長
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤原 智美	事務局員
	深川市立病院地域連携室地域連携係主査	尾中 康晴	事務局員
市町行政部局	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小鍛冶 眞由美	※1
	深川市高齢者支援課地域包括支援係主任	立川 智章	※1
	深川市健康福祉課課長補佐	村田 真紀	※1

※1の事務局員は深川市（座長）から選出する（令和2年度～令和4年度）

⇒ 市町行政部局3名は、これまで深川市2名と4町の持ち回り1名としてきたが、専門部会の見直し再編に合わせ、座長の深川市で担うこととする。

《ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチーム構成員》

役職	所属団体・役職等	氏名	備考
座長	深川市健康福祉課課長補佐	村田 真紀	
委員	深川市高齢者支援課地域包括支援係主任	立川 智章	
	妹背牛町健康福祉課主査	南 美也子	
	秩父別町住民課住民福祉グループ主査	瀬戸 優貴	
	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター長	神 薮 早智	
	沼田町保健福祉課主幹	高橋 直幸	
	深川市立病院管理課主幹	宮崎 雅晴	
	北空知地域医療介護連携支援センター事務局長	三ッ井 隆博	市立病院地域連携室

3. 年間スケジュール

⇒新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ見直し調整する。

年月日	項目	内容
4月20日	正副座長・部会長等 会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和2年度事業計画の協議・ 調整（事業の実施時期調整）
5月 日	第1回運営会議	令和2年度協議会議案の協議 重点課題の協議ほか
6月 日	第1回協議会	令和元年度事業報告・決算報告、 令和2年度事業計画（案）・予算（案）の協議ほか
月 日	第2回運営会議	重点課題の協議ほか
月 日	第3回運営会議	重点課題の協議ほか
月 日	第4回運営会議	重点課題の協議 令和2年度事業のまとめと令和3年度の取組の協議

※必要に応じて「正副座長・部会長等会議」を開催し事業の進捗等を調整する。

I 医療・介護情報共有支援部会

○医療・介護情報共有支援部会の担当

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報収集と整理
- ②地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドの作成とホームページ等での公開
- ③医療・介護関係者との情報の共有と活用、地域住民に対する情報提供

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①医療・介護連携情報共有シートの作成と普及促進
- ②情報共有ツールの導入検討
～ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）等の活用等

《令和元年度事業報告》

1. 事業計画

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①ICT活用情報共有ツール導入の調査研究
- ②その他の情報共有の方法や内容の検討
(連絡帳・連絡シート・クリティカルパス・ファックス・電子メール等)
- ③北空知地域入退院支援・調整ルール試行事業の普及促進と定着
- ④救急あんしんカードの普及啓発

2. 関係会議等開催状況

○第1回部会 令和元年6月17日(月) 18:10～20:10

市立病院 出席者11名(部会委員、事務局員)

・協議・確認事項

- (1) 平成30年度事業報告(進捗状況)の確認について
- (2) 令和元年度の事業計画及び年間スケジュールについて
 - ①社会資源・インフォーマルサービスの調査について
 - ②ICT活用情報共有ツール導入調査研究について
 - ③その他の協議課題について
- (3) その他情報交換について

※今年度は、社会資源・インフォーマルサービスの調査とホームページへの掲載、ICT活用情報共有ツール導入調査研究の実施と中間報告の取りまとめ、お薬手帳の普及啓発と連携ツールとしての活用を重点に取り組むことになった。

○ICT活用情報共有ツール導入調査研究会

令和元年10月1日(火) 18:00～19:40

市立病院 出席者30名(業者、部会委員・事務局員ほか各会議体委員等)

・説明者 帝人ファーマ株式会社 山本祐土さん

旭川市永山地域包括支援センター長 福島将恭さん

・ 帝人ファーマ株式会社の「バイタルリンク」のデモ説明と、旭川市の地域包括支援センターの導入利用の状況等を聞き、参加者で質疑・意見交換を行うとともに、後日アンケートをとり、参加者の意見等をとりまとめて調査した。

○第2回部会 令和元年12月6日(木) 18:00~19:45
市立病院 出席者9名(部会委員、事務局員)

・ 協議・確認事項

- (1) ICT活用情報共有ツール導入調査研究中間報告のとりまとめについて
- (2) お薬手帳の普及啓発と連携ツールとしての活用について
- (3) 医療・介護情報の調査と提供について
- (4) 次年度の専門部会のあり方について

※ICT活用情報共有ツール導入調査研究にかかる中間報告を取りまとめた。また、専門部会のあり方について協議し、本部会を他の部会と統合する意見となった。

○第3回部会 令和2年2月6日(木) 18:00~19:00
市立病院 出席者12名(部会委員、事務局員)

・ 協議・確認事項

- (1) 専門部会等の見直し再編について
- (2) 今年度事業のまとめと次年度の取組について

※正副専門部会長・事務局会議でまとめた専門部会等の再編案を承認し、今年度の事業報告を取りまとめるとともに、I部会の取組が立ち消えにならないよう引き継ぎ事項を協議した。

3. 事業の進捗状況

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実

⇒ サロンなどの通いの場や見守り、生活支援サービスなどの社会資源・インフォーマルサービスを調査し、情報ガイドに整理して、10月にホームページに掲載した。

【医療・介護資源情報ガイドのホームページ掲載状況】

- ・ 2019年10月1日 北空知地域の社会資源・インフォーマルサービスガイド
- ・ 2019年3月20日 北空知病院ガイド、診療所ガイド、歯科診療所ガイド、薬局ガイド
- ・ 2018年9月4日 北空知地域入退院支援・調整ルール
- ・ 2018年7月3日 北空知介護保険サービス事業所ガイドに地図情報を追加
- ・ 2018年6月5日 北空知介護保険サービス事業所ガイド

⇒ 社会資源・インフォーマルサービスガイドの掲載のほか、研修会等の案内や各種事業の報告の掲載など、ホームページの更新を23回行った。また、深ナビ*会員に登録した。

⇒ 介護保険サービス事業所ガイド、病院ガイド、診療所ガイド、歯科診療所ガイド、薬局ガイドの更新等について準備を進めていたが年度内の実施には至らなかった。

②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討

⇒ 各会議体委員等にホームページの更新を随時知らせたが、具体的検討には至らなかった。

③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

⇒ 関係機関・団体にホームページとのリンクを依頼しているほか、具体的検討には至らなかった。

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①ICT活用情報共有ツール導入の調査研究

⇒ 10月1日に調査研究会を開催し、旭川地域での導入活用状況を調査するとともに、アンケートで参加者の意見等を集約するなどし、これまでの調査研究結果を中間報告としてまとめた。

【中間報告の骨子】

(1) 北空知においてもICTを活用した情報共有ツールを導入活用すべきである

・ 導入地域は全国、全道的に広がりを見せ、旭川市医師会においても、患者情報(電子カルテ)を共

有する「たいせつ安心 i 医療ネット」の運用に加えて、今年度から医師会が「バイタルリンク」の S 管理者となり、医療・介護事業所への活用を推奨している。

- ・導入地域、事業所では情報の共有の効果が大きく、特段のデメリットはないようである。
- ・電子カルテ等の医療情報共有ツールは莫大な経費を必要とするが、医療・介護連携ツールは導入、維持経費も安価になってきている。
- ・導入経費や端末購入経費に対しては、地域医療介護総合確保基金の活用が可能である。
- ・救急あんしんカード、認知症初期集中支援事業など他の事業での活用も検討できる。

(2) 導入にあたってはプロジェクトチームを設けて取り組むべきである

- ・患者・利用者の同意と情報管理、インターネット接続のセキュリティ、北空知地域の利用のルールづくりなど詰めるべき点も少なくないので、プロジェクトチームを設け、検討に必要なメンバーを委嘱して取り組むべきである。
- ・導入にあたっては、事業者の試行（トライアル）サービスの活用による検討、あるいは一定程度の医療機関・介護事業所、市町で先行実施していくことも検討すべきである。

②その他の情報共有の方法や内容の検討（連絡帳・連絡シート・クリティカルパス・ファックス・電子メール等）

⇒ お薬手帳の普及啓発と連携ツールとしての活用について協議し、支援関係者を含め住民によく知られていないことが分かり、薬剤師会と連携し支援関係者への活用周知や住民啓発に意を用い、パンフレットなど普及啓発の方法を検討していくことになった。

③北空知地域入退院支援・調整ルール試行事業の普及促進と定着

⇒ 普及状況の把握が必要との協議になっているが、昨年 8 月に開始したばかりなので、次年度以降の検討課題とした。

④救急あんしんカードの普及啓発

⇒ 現行のカードの普及方策として、関係機関・団体を通じて、病院・診療所での発行・記載の促進、ケアマネからの要支援要介護者への利用徹底（北空知地域入退院支援・調整ルール試行事業で様式を提示）、施設入所者（特に市立病院未利用者）の利用徹底などを図っているが、利用者の記入の負担や記入の更新が必要なこと、市町への連絡、用紙等の受領など「面倒なこと」がネックになっている面があり、利用・普及は滞っているのが現状である。

⇒ そのため、新規登録、更新も含め簡便な方法がないか、ICT 活用情報共有ツール導入調査研究の中で活用の可能性を調査した。

4. 部会構成員（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月） 14 名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	斉 藤 直 美	2 年交代 (H30～R 元)
副部会長	深川医師会副会長	松 本 三 樹	吉本病院理事長
委 員	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	岡 安 良 子	
	北空知介護支援専門員連絡協議会	橋 本 和 樹	深川市社会福祉協議会
	北空知区域内介護事業所	畠 山 美 幸	沼田町社会福祉協議会
	深川保健所企画総務課企画主幹	大 場 久 男	
	妹背牛町健康福祉課主査	南 美也子	
	北竜町地域包括支援センター介護予防係長	大 井 敬 太	
	沼田町保健福祉課福祉グループ主査	渡 辺 正 人	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係主査	中 澤 美 佳	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	尾 中 康 晴	
	深川市健康福祉課主幹	三 ッ 井 隆 博	
		本 多 孝 二	市町代表事務局員 増

※部会長は 4 町で 2 年交代（平成 30 年度～令和元年度）

II 退院調整・在宅生活支援部会

○退院調整・在宅生活支援部会の担当

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①切れ目なく在宅医療と在宅介護を提供するための体制づくりの検討

○急変時診療体制の検討 ○夜間・休日診療体制の検討

○在宅での支援体制の検討 ○認知症施策の検討

(2) 医療介護連携支援センターの運営と相談の受付、関係者の連携と調整

①「北空知地域医療介護連携支援センター」の設置と運営

②相談コーディネーター（看護師、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員など、医療・介護の知識と実務経験を有する人材）の配置

③医療・介護関係者、地域包括支援センターからの医療・介護連携に関する相談の受付（地域住民からの相談も直接受け付け、地域包括支援センターと連携調整する。）

④退院の際の医療及び介護関係者との連携調整と相互の紹介、他圏域病院との連携調整

⑤訪問看護等在宅サービスとの連携・調整

⑥認知症初期集中支援事業の連携・調整

《令和元年度事業報告》

1. 事業計画

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①地域の医療と介護の提供状況について、情報の整理

・在宅医療・介護に関するアンケート調査結果を踏まえた課題整理と施策の検討

②切れ目のない在宅医療と在宅介護が提供される体制の構築のために必要な取組みの実施

・医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

・認知症初期集中支援事業等の認知症ケアの向上などの認知症施策の検討

(2) 医療介護連携支援センターの運営と相談の受付、関係者の連携と調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知

②相談コーディネーター業務の充実

③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（関係者間の連携構築）

④訪問看護等在宅サービスとの連携・調整

⑤認知症初期集中支援事業の連携・調整

2. 関係会議等開催状況

○第1回部会 令和元年5月30日（木）18:00～18:20

市立病院 出席者19名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

(1) 平成31年度の事業計画及び年間スケジュールについて

(2) 小部会・会議の構成（案）について

(3) その他情報交換について

※今年度の部会メンバーを確認し、今年度も「入退院支援研修企画小部会」と「在宅生活支援検討小部会」の2小部会を設置し事業に取り組むこととなり、小部会メンバーを決定した。

部会終了後、各小部会に分かれ第1回会議を開催した。

<p>○第2回部会 令和2年3月2日(月) 18:00～ ⇒ 開催中止 市立病院 出席者 名(部会委員、事務局員)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 第2回認知症初期集中支援事業研修会の振り返り・評価について</p> <p>(2) 専門部会等の見直し再編について</p> <p>(3) 今年度事業のまとめと次年度の取組について</p> <p>※新型コロナウイルス感染対策のため開催を中止し、メール等で書面協議を行い、正副専門部会長・事務局会議でまとめた専門部会等の再編案について承認し、今年度の事業報告を取りまとめるとともに、次年度も2つの小部会を設け、入退院支援研修会の開催や認知症施策の検討などの事業と課題に取り組むこととし、具体的には次年度部会で協議することとした。</p>
<p>○第1回入退院支援研修企画小部会 令和元年5月30日(木) 18:21(部会終了後)～19:30 市立病院 出席者10名(小部会メンバー)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 第1回入退院支援研修会の開催準備について</p> <p>①開催準備スケジュール ②役割分担 ③事業報告、振り返り・評価</p> <p>※第1回研修会を7月22日に開催することで、全員で役割分担を決め準備を進めることになった。</p>
<p>○第2回入退院支援研修企画小部会 令和元年6月11日(火) 18:00～19:45 市立病院 出席者10名(小部会メンバー)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 第1回入退院支援研修会の開催準備について</p> <p>①開催準備スケジュール ②役割分担 ③事業報告、振り返り・評価</p> <p>※事例は市立病院4東病棟から提供してもらうことで開催要項等を協議し、開催案内を6月18日に発送することを決めるとともに、第2回研修会を11月18日に開催し、地域ケアマネージャーから事例を提供してもらうことで進めることになった。</p>
<p>○第3回入退院支援研修企画小部会 令和元年6月26日(水) 18:00～19:10 市立病院 出席者10名(小部会メンバー)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 第1回入退院支援研修会の開催準備について</p> <p>①当日の流れと事例検討の方法 ②アンケート</p> <p>※研修レジメ、事例検討の進め方などを協議し、進行は企画進行担当者で協議することになった。</p>
<p>○第1回研修会企画進行担当者打ち合わせ会 令和元年7月9日(火) 14:00～16:20 市立病院 出席者6名</p> <p>・研修レジメ、提供事例および事例検討の進め方、グループ分けなどの運営方法を協議した。</p>
<p>○第4回入退院支援研修企画小部会 令和元年7月16日(火) 18:00～19:10 市立病院 出席者11名(小部会メンバー)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 第1回入退院支援研修会の開催準備について</p> <p>①参加者申込者 ②グループ分け表 ③当日の流れと事例検討の方法</p> <p>④当日の業務分担 ⑤アンケート</p> <p>(2) 第2回研修会役割分担</p> <p>(3) 第1回研修会の振り返りと第2回研修会の開催準備について</p> <p>※第1回研修会の最終準備を協議した。</p>
<p>○第5回入退院支援研修企画小部会 令和元年8月6日(火) 18:00～20:10 市立病院 出席者11名(小部会メンバー)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 第1回研修会の振り返り・評価について</p> <p>(2) 第2回研修会の開催準備について</p>

<p>①開催準備スケジュール ②役割分担</p> <p>※第1回研修会の振り返り・評価を行い、第2回研修会に向けて役割分担と準備スケジュール等を協議した。</p>
<p>○第2回研修会企画進行担当者打ち合わせ会</p> <p>令和元年9月7日(水) 14:00~15:30</p> <p>市立病院 出席者6名</p> <p>・研修レジメ、事例検討の進め方、提供事例の概要について協議した。</p>
<p>○第6回入退院支援研修企画小部会 令和元年9月24日(火) 18:00~19:15</p> <p>市立病院 出席者10名(小部会メンバー)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 第2回研修会の開催準備について</p> <p>①研修レジメ、事例検討の進め方、提供事例の概要 ②開催要項、開催案内、参加申込書</p> <p>③アンケート ④開催準備スケジュール</p> <p>※第2回研修会の開催準備を協議し、10月7日に開催案内を発送することで進めることになった。</p>
<p>○第2回研修会企画進行担当者打ち合わせ会</p> <p>令和元年11月6日(水) 14:00~15:10</p> <p>市立病院 出席者9名(担当者、事例発表者)</p> <p>・研修レジメ、事例検討の進め方、事例の提供方法、グループ分けなどの運営方法を協議した。</p>
<p>○第7回入退院支援研修企画小部会 令和元年11月12日(火) 18:00~19:10</p> <p>市立病院 出席者10名(小部会メンバー)</p> <p>・協議・確認事項について</p> <p>(1) 第2回研修会の開催準備について</p> <p>①参加申込者 ②グループ分け表 ③当日の流れと事例検討の方法</p> <p>④当日の業務分担 ⑤アンケート</p> <p>※第2回研修会の最終準備を協議した。</p>
<p>○第8回入退院支援研修企画小部会 令和元年12月3日(水) 17:30~19:15</p> <p>市立病院 出席者10名(小部会メンバー)</p> <p>・協議・確認事項について</p> <p>(1) 第2回研修会の振り返り・評価について</p> <p>(2) 次年事業の計画について</p> <p>(3) 次年度の専門部会のあり方について</p> <p>※次年度も関係者の力量アップを図るため、研修会を年2回、7月と11月に開催することで取り組むことになった。</p>

<p>○第1回北空知地域入退院支援研修会</p> <p>令和元年7月22日(月) 18:15~19:45</p> <p>出席者86名(看護職40名、介護支援専門員21名、MSW・SW・相談員9名、保健師6名、リハビリ職3名、薬剤師1名、歯科医1名、介護福祉士1名、事務職3名)</p> <p>・研修内容</p> <p>(1) 事例紹介「ストマケアを通じて、本人・家族の支援を深める」 提供者 深川市立病院4東病棟 看護師 遠藤 行さん</p> <p>(2) 事例検討 15グループ 1グループ5~6名で検討を実施</p> <p>・テーマ2点「本人・家族の思いに寄り添った在宅生活への移行支援について」 「そのためにどのような情報を共有し整理ができればよいかについて」</p> <p>(4) 全体共有 グループワークで検討したことをインタビュー形式で7グループから発表 事例提供した4東病棟の看護師長からの感想等</p> <p>※参加者の満足は高く、アンケートには「家族の思いや生活背景について分からないことが多々ある」と話し合いで気付いた」「私たちが分かっているにもかかわらず患者や家族には分からないことだらけなので、</p>
--

丁寧な説明に心掛ける」「終末期を迎える対象者への対応は、想像力が必要だと思った」「介護保険サービス以外の資源の活用をもっと考えてみようと思った」などの感想が寄せられていた。

○第2回北空知地域入退院支援研修会

令和元年11月18日(月) 18:15~19:45

出席者80名(看護職30名、介護支援専門員27名、MSW・SW・相談員6名、保健師9名、リハビリ職3名、薬剤師1名、歯科医1名、事務職2名、その他1名)

・研修内容

(1) 事例紹介「5年後の生活を想像して、本人・家族の支援を考える」

提供者 深川市地域包括支援センター介護支援専門員 上林早苗さん

(2) 事例検討 14グループ、1グループ5~6名で検討を実施

- ・テーマ2点「5年後の生活を予測し、どのような課題があるかについて」
「課題を踏まえ、本人・家族に寄り添った継続支援について」

(3) 全体共有 グループワークで検討したことをインタビュー形式で5グループから発表
事例提供した上林さんの感想等

※5年後を想像するというテーマが話しやすかったのか、既存情報にとらわれず、未来を柔軟に想定し各職種の視点から支援について検討できた。

2回の研修会を通じて、研修の目標に向かい、課題解決するスキルアップになっている。

研修内容の評価は高く、継続を望む声も聞かれており、次年度も参加のない事業所や若い層への参加を促し、幅広い参加が得られるよう企画していく。

○第1回在宅生活支援検討小委員会 令和元年5月30日(木) 18:21(部会終了後)~19:40
市立病院 出席者9名(小委員会メンバー)

・協議・確認事項

(1) 事業計画に対する昨年度までの協議内容について

(2) 切れ目のない在宅医療と在宅介護が提供される体制の構築ために必要な取り組みの実施について

- ・認知症初期集中支援事業等の認知症ケア向上などの認知症施策の検討

(3) 地域の医療と介護の提供状況について、情報の整理について

- ・在宅医療・介護に関するアンケート調査結果を踏まえた課題整理と施策の検討

※今年度の認知症施策の検討については、前半に砂川市の事例を紹介してもらった研修会、後半に北空知の事例共有検討会を開催することになった。

○第2回在宅生活支援検討小委員会 令和元年12月9日(月) 18:00~19:45
市立病院 出席者6名(小委員会メンバー)

・協議・確認事項

(1) 認知症施策について

(2) 地域の医療と介護の提供状況について、情報の整理について

(3) 次年度の専門部会のあり方について

※認知症の事例共有検討会を2月に開催することになった。在宅医療・介護に関するアンケート調査結果を踏まえた課題整理については、運営会議で基本的な課題整理を協議してもらったこととし、部会では在宅生活支援にかかる住民啓発に取り組むことになった。

○第3回在宅生活支援検討小委員会 令和2年1月15日(水) 18:00~19:20
市立病院 出席者7名(小委員会メンバー)

・協議・確認事項

(1) 第2回認知症研修会の開催について

(2) 次年度事業の取組について

※第2回認知症初期集中支援事業研修会は、深川市地域包括支援センターから事例提供を受け、認知症サポート医はじめとする支援関係者で事例を共有検討する内容として、2月20日に開催することで取り組むことになった。

○第1回認知症初期集中支援事業研修会

令和元年8月22日(木) 18:00~19:40

市立病院 出席者21名(部会・小部会、市町地域包括支援センター、訪問看護ステーション、市立病院、介護サービス事業所など)

※認知症ケアの向上を図るための、認知症初期集中支援事業に係る関係市町及び関係機関の専門職等が、先進地の取り組みに学ぶことで、日々の活動を振り返り、今後の課題を共有する場として、砂川市立病院認知症疾患医療センターの福田智子さんを講師に招き学習会を開催した。

○第2回認知症初期集中支援事業研修会

令和2年2月20日(火) 18:00~19:40

市立病院 参加者43名(部会・小部会、認知症サポート医、市町地域包括支援センター、訪問看護ステーション、市立病院、介護サービス事業所など)

※深川市から昨年度発動した認知症初期集中支援事業4事例のチーム介入後の状況も含めた事例提供を受け、それぞれの事例に関わったサポート医、病院・介護事業所の担当者からの補足説明や意見等を加えて、参加者で情報・意見交換を行い、北空知地域の認知症ケアの向上に努めた。

3. 事業の進捗状況

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①地域の医療と介護の提供状況について、情報の整理

・在宅医療・介護に関するアンケート調査結果を踏まえた課題整理と施策の検討

⇒ 課題整理と施策の検討については、十分な協議に至らず、運営会議で基本的な課題整理を協議してもらったこととし、部会では在宅生活支援にかかる住民啓発に取り組むこととなった。

②切れ目のない在宅医療と在宅介護が提供される体制の構築のために必要な取り組みの実施

・医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

⇒ 北空知地域の医療関係者と地域支援関係者が連携して入退院支援を進めていく関係を築くため、昨年度に続き「北空知地域入退院支援研修会」を7月と11月に2回開催し、関係者の力量アップを図った。

・認知症初期集中支援事業等の認知症ケアの向上などの認知症施策の検討

⇒ 認知症ケアの向上を図るため、8月に第1回認知症初期集中支援事業研修会を開催し先進地の取り組みに学ぶとともに、2月に第2回認知症初期集中支援事業研修会を開催し認知症サポート医をはじめとする支援関係者で事例の共有検討を行った。

⇒ 北空知地域の認知症施策について情報交換を行った。

(2) 医療介護連携支援センターの運営と相談の受付、関係者の連携と調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知

⇒ 市立病院地域連携室内に下記「令和元年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制」のとおり設置し運営にあたった。

⇒ ホームページ、パンフレット、北空知地域住民フォーラムなどの研修事業等で周知するとともに、各市町の地域包括支援センター、各事業所等を通じて周知に努めた。

⇒ 北海道国民健康保険団体連合会発行の広報誌「北海道の国保」の2020年1月号に北空知の医療・介護の取組が特集で紹介された。

②相談コーディネート業務の充実

⇒ 北空知地域入退院支援研修会などを通じて関係者との連携を深め、相談業務の充実に努めた。

また、北空知地域内外の各種研修会や会議に参加し、医療・介護等の関係者との関係づくりとセンター職員の資質向上に努めた。

③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（関係者間の連携構築）

⇒ 深川市（月2回）、妹背牛町（月1回）、秩父別町（月1回）、北竜町（月1回）、沼田町（不定期）の地域ケア会議に出席し、関係市町及び事業所等との連携構築に努めた。

④訪問看護等在宅サービスとの連携・調整

⇒ 入退院支援業務や相談業務を通じて関係者と連携・調整に努めた。

⑤認知症初期集中支援事業の連携・調整

⇒ 関係市町への認知症サポート医及び看護職の派遣・調整を行った。

- ・令和元年度の実施件数2件（深川市2件）、実施結果：1件～医療受診・介護サービス利用、1件～地域包括支援センターで支援継続

〔平成29年度実施件数5件（深川市4件、北竜町1件）、うち市立病院看護師派遣1件（北竜町）
平成30年度の実施件数4件（深川市4件）〕

2. 部会構成員（平成31年4月～令和2年3月）20名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩	2年交代（H30～R元）
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	大 場 久 男	
委 員	深川医師会副議長	児 島 俊 一	児島医院 院長
	北空知歯科医会副会長	中 神 宏 司	中神歯科医院 院長 増
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局
	北空知介護支援専門員連絡協議会	今 田 裕 之	居宅介護支援清祥園
		↓	5月交代
	北空知区域内介護事業所	高 橋 ゆ み	永楽園居宅介護支援
	北空知区域内介護事業所	原 田 順 子	深川地域訪看所長
	北空知区域内介護事業所	山 崎 雄 大	居宅りぶれ
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課救急救助係長	柴 田 和 宏	
	深川保健所健康推進課指導主任保健師	栗 林 志 保	
	秩父別町住民課住民福祉グループ主査	太 田 祥 予	
	北竜町地域包括支援センター介護予防係	内 田 奈保子	
	沼田町保健福祉課福祉グループ保健師	鈴 木 悠里江	
深川市健康福祉課長補佐・障がい福祉係長	村 田 真 紀		
深川市高齢者支援課地域包括支援係	鎌 塚 聡 子		
事務局員	深川市立病院地域連携室室長	村 澤 眞由美	
	深川市立病院地域連携室副室長	坂 井 良 江	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐 藤 恵 里	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆 博	
	深川市高齢者支援課課長補佐	北 垣 千 絵	市町代表事務局員 増

※部会長は4町で2年交代（平成30年度～令和元年度）

【入退院支援研修企画小部会】

大場（小部会長）、中神、原田、高橋、山崎、栗林、内田、北垣、坂井、佐藤、三ッ井（11名）

【在宅生活支援検討小部会】

河野（小部会長）、児島、工藤、柴田、太田、鈴木、村田、鎌塚、村澤、三ッ井（10名）

令和元年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役 職	所属団体・役職	氏 名	担 当
センター長	深川市立病院副院長	新 居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	センター長の職務代理

副センター長	深川市立病院地域連携室長	村澤 眞由美	運営会議 退院調整・在宅生活支援部会
事務局長	深川市立病院地域連携室 地域連携係調査員	三ツ井 隆 博	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業等の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	坂井 良 江	退院調整・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室副室長	赤松 充 敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤原 智 美	多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主査	尾中 康 晴	運営会議 医療・介護情報共有支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐藤 恵 里	退院調整・在宅生活支援部会

Ⅲ 多職種連携・地域啓発部会

○多職種連携・地域啓発部会の担当

(1) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催
 - ・関係団体の研修事業等との連携と活用による研修会の企画立案
 - ・各市町地域ケア会議等の活用による研修会の検討と実施
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

(2) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

《令和元年度事業報告》

1. 事業計画

(1) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の複数回開催の企画と運営
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
 - ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整
 - ・事業者向け研修会等の実施による普及推進

(2) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

2. 関係会議等開催状況

○第1回部会 平成31年4月24日(水) 18:00~18:25
市立病院 出席者15名(部会委員、事務局員、運営協力員)

・協議・確認事項

- (1) 平成31年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- (2) 小部会・会議の構成(案)について
- (3) その他情報交換について

※今年度の部会メンバーを確認し、協議・確認事項を協議。今年度も「多職種合同研修企画小部会」と「地域啓発事業企画小部会」の2小部会を設置し事業に取り組むこととなり、多職種合同研修企

画小部会に運営協力員3名を加え、各小部会メンバーを決定した。
部会終了後、各小部会に分かれ第1回会議を開催した。

○第2回部会 令和2年2月17日(月) 18:00~20:00 市立病院
出席者17名(部会委員、事務局員、運営協力員)

・協議・確認事項

- (1) 第3回多職種合同研修会の振り返り・評価について
- (2) 専門部会等の見直し再編について
- (3) 今年度事業のまとめと次年度の取組について

※正副専門部会長・事務局会議でまとめた専門部会等の再編案を承認し、今年度の事業報告を取りまとめるとともに、次年度も多職種合同研修会は年3回開催すること、北空知地域住民フォーラムは10月に秩父別町で開催することで取り組むことになった。

○第1回多職種合同研修企画小部会 平成31年4月24日(水) 18:30(部会終了後)~20:00
市立病院 出席者9名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 平成31年度多職種合同研修会の企画について
①ケア・カフェ方式の導入 ②研修会の名称、テーマ、企画担当者等
- (2) 第1回多職種合同研修会の開催準備について
①役割分担 ②開催準備スケジュール ③事業報告、振り返り・評価

※合同研修会にケア・カフェ方式を導入、第1回研修会は6月14日に「運動」をテーマに、第2回は9月中旬に「お口の話」をテーマに、第3回は1月下旬に「食事」をテーマに開催することで、役割分担を決め取り組むことになった。

○第2回多職種合同研修企画小部会 令和元年5月13日(月) 18:00~19:40
市立病院 出席者12名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 第1回多職種合同研修会の開催準備について
①役割分担 ②開催準備スケジュール ③事業報告、振り返り・評価

※第1回研修会の開催準備を協議、会場は市立病院とし、案内発送を5月20日、参加申込期限を6月10日として進めることになった。

○第1回研修会企画担当スタッフ最終打ち合わせ会
令和元年6月10日(月) 18:00~19:40
市立病院 出席者6名(担当メンバー)

・参加申込み状況を踏まえ、会場設営、当日の進行、配付資料、その他用意するものなどを協議し、研修会終了後の事業報告、振り返り・評価はメール等で連絡し合い案を作成していくことにした。

○第2回研修会企画担当スタッフ打ち合わせ会
令和元年7月8日(月) 18:00~19:30
市立病院 出席者6名(担当メンバー)

・第2回研修会を9月20日にラ・カンパーニュホテル深川で開催することで、研修企画(案)、会場設営、当日の進行、配付資料、その他用意するものなどを協議した。

○第3回多職種合同研修企画小部会 令和元年7月29日(月) 18:00~19:40
市立病院 出席者9名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 第1回研修会の振り返り・評価について
- (2) 第2回研修企画(案)について
- (3) 当日の進行について (4) 当日の配付資料について (5) その他用意するものについて
- (6) 当日会場設営について (7) 事業報告、振り返り・評価の作成について

※第1回研修会の振り返り・評価を行い、第2回研修会のテーマを「お口の中」とし、案内発送を8月13日、参加申込期限を9月9日として進めることになった。また、第3回研修会は1月30日にラ・カンパーニュホテル深川で開催することを決定した。

<p>○第2回研修会企画担当スタッフ最終打ち合わせ会 令和元年9月12日(木) 18:00~18:50 市立病院 出席者7名(担当メンバー)</p> <p>・参加申込み状況を踏まえ、会場設営、当日の進行、配付資料、その他用意するものなどを協議し、研修会終了後の事業報告、振り返り・評価はメール等で連絡し合い案を作成していくこととした。</p>
<p>○第3回研修会企画担当スタッフ打ち合わせ会 令和元年11月20日(水) 18:00~19:00 市立病院 出席者8名(担当メンバー)</p> <p>・第3回研修会を1月30日にラ・カンパーニュホテル深川で開催することで、研修企画(案)、会場設営、当日の進行、配付資料、その他用意するものなどを協議した。</p>
<p>○第4回多職種合同研修企画小部会 令和元年12月5日(木) 18:00~19:55 市立病院 出席者9名(小部会メンバー)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 第2回研修会の振り返り・評価について</p> <p>(2) 第3回研修会の開催について</p> <p>①研修企画 ②準備事項と役割分担 ③当日の会場設営 ④事業報告、振り返り・評価 ⑤当日反省会(直会)</p> <p>(3) 次年度の専門部会のあり方について</p> <p>※第2回研修会の振り返り・評価を行い、第3回研修会のテーマを「食事」とし、案内発送を12月23日、参加申込期限を1月23日として進めることになった。</p> <p>また、第3回研修会の振り返り・評価および次年度事業計画は部会で協議することとした。</p>
<p>○第3回研修会企画担当スタッフ最終打ち合わせ会 令和2年1月24日(金) 18:00~18:50 市立病院 出席者 名(担当メンバー)</p> <p>・参加申込み状況を踏まえ、会場設営、当日の進行、配付資料、その他用意するものなどを協議し、研修会終了後の事業報告、振り返り・評価はメール等で連絡し合い案を作成していくことになった。</p>
<p>○第1回地域啓発事業企画小部会 平成31年4月24日(水) 18:30(部会終了後)~20:00 市立病院 出席者7名(小部会メンバー)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの開催について</p> <p>①役割分担 ②催準備スケジュール ほか</p> <p>(2) 地域住民向け講演会・研修会等について</p> <p>①今年度の派遣要望 ②地域リハ、訪問看護以外のメニュー ③事業者向け研修会等の開催</p> <p>(3) 地域啓発パンフレット等の作成について</p> <p>①既存住民啓発パンフレットの増刷 ②既存パンフレットの改訂、新しいパンフレットの作成</p> <p>※住民フォーラムを10月27日(日)に北竜町で開催することで役割分担を決め準備を進めることになった。</p>
<p>○第2回地域啓発事業担当小部会および第1回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議 令和元年6月21日(金) 18:00~19:15 市立病院 出席者10名(小部会メンバー、調整会議メンバー)</p> <p>・協議・確認事項</p> <p>(1) 平成30年度地域リハビリテーション活動支援事業の報告について</p> <p>(2) 地域住民向け講演会・研修会等について</p> <p>①地域リハビリテーションによる「住民向け講演会・研修会等の成果と課題」について ②地域リハ、訪問看護以外のメニュー ③事業者向け研修会等の開催</p> <p>(3) 在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの開催について</p> <p>①開催要項 ②役割分担 ③開催準備スケジュール</p> <p>※地域リハで老人クラブやサロン等で住民向けの講話等を行っており、また市町の会議メンバーが重</p>

なっていることから合同で成果と課題を協議した。住民フォーラムは取組紹介者や講師の承諾を得、開催要項を決定した。

○第3回地域啓発事業企画小部会 令和元年8月19日(月) 18:30~19:30
市立病院 出席者6名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの開催について
①プログラムおよび開催案内等文書 ②役割分担 ③開催準備スケジュール
- (2) 地域啓発パンフレット等の作成について
- (3) 地域住民向け講演会・研修会等について
①地域リハ、訪問看護以外のメニュー ②事業者向け研修会等の開催

※住民フォーラムのプログラム、チラシ、開催案内文書等を決定し、9月20日に開催案内を送付。地域啓発パンフレットは当面、現在のものを増刷して活用。地域リハ、訪問看護以外のメニューの検討のため、市町、医師会、市立病院に住民向けに紹介できる講師等を照会することになった。

○住民フォーラム開催地打ち合わせ

令和元年10月16日(月) 13:30~15:00 北竜町役場
出席者4名(北竜町担当者、小部会長ほか)

- ・開催地と参加者の見込み数を出し、準備物件や会場設営などの役割分担等の打ち合わせを行った。

○第4回地域啓発事業担当小部会 令和元年12月12日(木) 18:00~19:55
市立病院 出席者9名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの振り返り・評価について
- (2) 地域啓発パンフレット等の作成について
- (3) 地域住民向け講演会・研修会等について
①地域リハ、訪問看護以外のメニュー ②事業者向け研修会等の開催
- (4) 今年度事業のまとめと次年度事業の取り組みについて
- (5) 次年度の専門部会のあり方について

※住民フォーラムの振り返り・評価を行い、次年度は秩父別で開催することを確認。地域住民向け講演会・研修会は市町、医師会、市立病院に照会した講師等紹介リストと住民フォーラムでアンケート調査した研修テーマを基にメニューと講師リストを作成していくこととなり、その他の課題も継続協議とした。

○在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム in 北竜

～いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか？どう送りたいですか？～

令和元年10月27日(日) 13:30~15:45 北竜町公民館

参加者106名(北竜町72名、深川市17名、妹背牛町9名、秩父別町3名、沼田町2名、その他3名。うち一般66名、支援関係者40名)

- (1) 北空知地域の在宅医療・介護の取組紹介
「自宅で安心して暮らすために～チーム北空知の取組」
紹介者 北空知地域医療介護連携支援センター事務局長 三ッ井隆博さん
「自宅で安心して暮らすために～訪問看護の取組」
紹介者 深川市立病院訪問看護ステーション「みのり」管理者 立花洋子さん
- (2) 講演「認知症を予防するために大切なこと～あたまの元気度テスト2年間のまとめから～」
講師 北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科教授 小田史郎さん
- (3) 意見交換「支えあう地域づくり」
コーディネーター 北竜町地域包括支援センター介護予防係長 大井敬太さん

※事前申込された方は82名でしたが、当日は北竜町の方を中心に続々と入場し106名の参加に。北竜町で認知症の調査をしている講師の話もあり、また意見交換で活動報告されたボランティア団体の参加呼びかけもあり、北竜町でも在宅医療や介護、終活に関心があることが分かった。

- ・最初に、北空知地域の在宅医療・介護の取組の紹介があり、終末期の話では涙ぐむ方もいました。講演では、小田講師から北竜町でのあたまの元気度テストの調査結果の報告と、認知症の正しい理解と予防についての講演があり、さらに意見交換では、在宅介護の体験や、ボランティア活動を紹介する発言などが交わされ、在宅医療と介護を考える場となった。
- ・参加者アンケートからも「本人・家族の意向を尊重して最後をどう過ごすか考えることができた」「他人事ではなく我が身にも起こること」「今後自分に出来る事をやっていきたい」などと、フォーラムのテーマや目的である、人生の最期をどう迎えたいか、送りたいかを自分自身の問題として考える機会となったことが伺えた。

○地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「第1回ケア・カフェきたそらち～運動～」

～「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ～

令和元年6月14日（金）18：00～20：00 深川市立病院 2階 会議室

参加者88名（事前申込者96名、欠席12名、当日受付4名）

（市町別：深川市69名、妹背牛町4名、秩父別町2名、北竜町4名、沼田町9名）

（職種別：看護職26名、介護支援専門員15名、リハビリ職14名、MSW・SW・相談員6名、保健師4名、ヘルパー4名、事務職3名、薬剤師2名、管理栄養士2名、歯科衛生士2名、介護職2名、医師1名、歯科医師1名、その他6名）

(1) 話題提供「病院のリハビリ・地域のリハビリ」

・話題提供者：永洞政幸さん（深川市立病院作業療法士）

(2) グループワーク（情報・意見交換・意見交換）

・テーマ「運動」

・カフェ・マスター 坂本一樹さん（深川市立病院4東病棟副師長）

・サブマスター 礪 宏一さん（沼田町地域包括支援センター介護支援専門員）

※永洞さんからは、病院で行うリハビリと地域で行うリハビリの紹介があり、また運動の目的や自身の体験も話されグループワークへの話題提供が行われた。

・グループワークは会場いっぱい、1グループ5人、17グループで行われ、坂本カフェ・マスター、礪サブマスターの進行で、BGMが全く聞こえないほど、賑やかに楽しく会話が弾みました。

・患者・利用者に運動の促す方法や、継続してもらうにはどうしたらいいか、支援者の体力づくりも大事だね、などと、いろいろな視点から情報交換、意見交換が行われ、最後にいくつかのグループから話し合いの内容が紹介され、全体で共有した。

・また、一番いい質問・相談をしたと思う方2名に、MVS（mostvaluable soudan/shitsumon）賞（ライスパワー体操のDVDとケア・カフェボールペン）が贈呈された。

○地域包括ケアに携わる多職種合同研修会 兼 北空知介護支援専門員連絡協議会研修会

「第2回ケア・カフェきたそらち～お口の話～」

～「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ～

令和元年9月20日（金）18：00～21：30 研修会18：00～ 交流会20：10～

ラ・カンパーニュホテル深川

・参加者91名（事前申込者100名 欠席11名、当日受付2名） 交流会32名

（市町別：深川市63名、妹背牛町7名、秩父別町2名、北竜町7名、沼田町12名）

（職種別：看護職16名、介護支援専門員20名、保健師9名、ヘルパー9名、リハビリ職6名、管理栄養士5名、MSW・SW・相談員5名、事務職4名、薬剤師4名、歯科衛生士4名、歯科医師3名、医師2名、その他4名）

(1) 話題提供「オーラルフレイル」

・話題提供者：中神宏司さん（北空知歯科医会副会長）

(2) グループワーク（情報・意見交換・意見交換）

・テーマ「お口の話」

・カフェ・マスター 礪 宏一さん（沼田町地域包括支援センター介護支援専門員）

- ・サブマスター 疋田 健さん（東ヶ丘病院精神科認定看護師）
- (3) 交流会（懇親会）「飲みニケーション交歓～深めよう多職種連携づくり～」
- ・コーディネーター 北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長 高橋 都さん
- ※中神さんからは、フレイルの特徴の説明があり、ささいな口の衰えが全身に大きな影響を与えることになり、中年期のメタボ予防から高齢期はフレイル予防が大事との話題提供があった。
- ・磯ケア・マスターと疋田サブマスターの進行で行われたグループワークは「最初は緊張したがとても楽しかった」「話がはずみ、面白い情報を得た」「職種が違くと目線が違い、本当に気付かされた」などの感想が寄せられ、今回も参加者の満足度は高く、有意義な研修となった。
 - ・今回もMVS賞（口腔ケアグッズとケア・カフェボールペン）が2名の方に贈呈された。
 - ・研修会終了後の交流会にも32名が参加し、コーディネーターの高橋さんが用意してきたゲームで楽しく懇談、和やかに多職種連携づくりの交流が深められた。

○地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「第3回ケア・カフェきたそらち～食事～」

～「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ～

令和2年1月30日（木）18：00～20：00 ラ・カンパーニュホテル深川

参加者83名（事前申込者99名、欠席18名、当日受付3名）

（市町別：深川市65名、妹背牛町6名、秩父別町2名、北竜町1名、沼田町8名、滝川市1名）

（職種別：看護職18名、介護支援専門員11名、保健師9名、管理栄養士・栄養士9名、リハビリ職7名、ヘルパー6名、MSW・SW・相談員4名、薬剤師2名、歯科衛生士2名、医師2名、歯科医師2名、事務職2名、その他9名）

(1) 話題提供「食事と健康寿命」

- ・話題提供者：岡本 恵さん（北空知栄養士会会長）

(2) グループワーク（情報・意見交換）

- ・テーマ「食事」
- ・カフェ・マスター 疋田 健さん（東ヶ丘病院精神科認定看護師）
- ・サブマスター 永洞政幸さん（深川市立病院作業療法士）

- ※岡本さんからは、健康寿命を延ばすためには、運動・食生活・禁煙が重要であるとし、参加者の塩分摂取チェックを行い、塩分を控えるための12ヶ条を紹介、減塩についての話題提供があった。
- ・季節柄か、本人や施設入所者の体調不良で欠席する方が多くありましたが、初めて参加する方も多く、疋田ケア・マスターと永洞サブマスターの進行で行われたグループワークでは「自分が思いもしない話をいっぱい聞いた」「食事・塩分の知識を深めることができた」「とても楽しく、勉強になりました」などの感想が寄せられ、次年度の継続開催を期待する有意義な研修となった。
 - ・今回もMVS賞（栄養の本とケア・カフェボールペン）が2名の方に贈呈された。

○第2回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

令和2年2月25日（火）17：30～19：30 市立病院

出席者7名（市町地域包括支援センター担当者、事務局員）

・協議・確認事項

- (1) 今年度事業の実績と評価および次年度以降の事業方針について
- (2) 令和元年度事業報告および令和2年度事業計画について

※地域リハビリテーション活動支援事業5つの事業について、今年度の実績と評価を行い、次年度以降の事業方針について協議した。次年度は事業の成果と課題を共有してもらうため、各市町の地域ケア会議で報告し対応等を協議する場を設けることになった。また、次年度から事業担当者を増員し、各市町を複数の職員で担当する体制とし、職員の派遣を早めに調整にする仕組みとした。

○介護保険サービス事業所スタッフ向け研修会の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	4	市内通所介護事業所スタッフ研修会、介護支援専門員スキルアップ研修会
妹背牛町	0	

秩父別町	0	
北竜町	5	北竜町社会福祉協議会通所サービス事業所、特別養護老人ホーム永楽園
沼田町	1	養護老人ホーム和風園
合計	10	

○住民向け講演会・研修会等の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	18	D'sカフェ、多度志シルバークラブ、東大町サロン、花園サロン、幌成シルバークラブ、音江健康ふれあいサロン、開西町お結びサロン、内園シルバークラブ、円サークル、音江シルバークラブ、錦町すこやかサロン、豊泉サロン、介護者と共に歩む会
妹背牛町	2	妹背牛町生活支援ハウスすまい・ル
秩父別町	4	ちっぷ介護フェア、脳活介護予防事業、北いぶき農協女性部エルダー
北竜町	0	
沼田町	14	沼田町のぞみサークル、旭町サロン、緑町サロン、高齢者元気100倍教室
合計	38	

3. 事業の進捗状況

(1) 医療・介護関係者の研修会の実施

①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施

・多職種合同研修会の複数回開催の企画と運営

⇒ 患者や利用者、地域住民の支援に携わる関係職員が一堂に会し、お互いの役割を確認・共有し、切れ目のない支援・サービスが提供される多職種連携の関係づくりを構築するため、ケア・カフェ方式の研修を導入し、地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「ケア・カフェきたそらち」を3回開催した。

第1回は「運動」をテーマに88名、第2回は「お口の話」をテーマに91名、第3回は「食事」をテーマに83名が参加し、多職種連携の関係づくりに努めた。

・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討

⇒ 関係機関・団体からの情報提供により、深川医師会の研修会、秩父別町の介護フェア、妹背牛町の介護劇公演、市立病院の事業などを適宜、本協議会の各会議体委員等へメール等で案内した。

・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討

⇒ 具体的検討には至らなかったが、地域リハビリテーション活動支援事業を通じ、介護保険サービス事業所の職員研修に作業療法士を派遣した。

②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整

⇒ 地域リハビリテーション活動支援事業調整会議を開催し、事業3年間の成果と課題をまとめ、関係市町の地域ケア会議や事業所の研修などで報告し事業の一層の普及推進を行った。

⇒ 北海道の「地域リハビリテーション指導者養成研修」に、市立病院のリハビリテーション専門職が参加し、地域ケア会議や介護予防事業に資するアドバイザーとしての指導力向上と、本事業担当者の育成に努めた。

・事業者向け研修会等の実施による普及推進

⇒ 深川市内の事業所が合同実施する通所介護事業所スタッフ研修会を3回開催するとともに、北竜町、沼田町の介護事業所でスタッフ研修を実施した。

(2) 地域住民への普及啓発

①在宅医療や介護などについての講演会等の開催

・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催

⇒ 北空知地域住民フォーラムは、10月27日（日）に北竜町で106名の参加者を得て開催し

た。今年度も「いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか？ どう送りたいですか？」をテーマに、北空知の在宅医療や介護の取り組み紹介や、外部の講師を招いた講演、意見交換を通じ、地域住民に在宅医療と介護を考えてもらう機会とした。

・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施

⇒ 関係市町、医師会、市立病院に住民向けに紹介できる講師等を照会し、地域住民向け講演会・研修会のメニューづくりや講師リストづくりを検討した。

⇒ 地域リハビリテーション活動の出前講座は、上記「住民向け講演会・研修会等の開催」のとおり、38カ所で実施した。

②在宅医療や介護に関する住民広報の実施

・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施

⇒ 住民啓発パンフレット「住み慣れたまちで安心して暮らすために」を700部増刷し、地域住民フォーラムで救急あんしんカード普及啓発リーフレットとともに配付し、住民啓発資料として関係市町及び市立病院に配分した。

・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

⇒ 地域住民フォーラムで、今後希望する研修会等のテーマを調査し課題把握に努めたが、住民啓発の機会を設けるまでには至らなかった。

4. 部会構成員（平成31年4月～令和2年3月）17名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	北竜町地域包括支援センター次長・保健指導係長	神 薮 早 智	2年交代（H30～R元）
副部会長	北空知介護支援専門員連絡協議会	桑 原 薫	幸鐘会
委 員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中 澤 肇 子	深川市立病院薬剤課
	北空知栄養士会会長	岡 本 恵	増
	北空知区域内介護事業所	及 川 雅 裕	GH碧水 管理者
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川保健所企画総務課主査	山 崎 由紀子	
	妹背牛町健康福祉課主査	野 本 里 恵	
	秩父別町住民課保健師	池 田 有里恵	
	沼田町地域包括支援センター（介護支援専門員）	礪 宏 一	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係係長	藤 原 智 美	
	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤 松 充 敏	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆 博	
	沼田町保健福祉課主幹	按 田 義 輝	市町代表事務局員 増

※部会長は4町で2年交代（平成30年度～令和元年度）

【多職種合同研修企画小部会】

桑原（小部会長）、大谷内、中澤、礪、岡本、山崎、藤原、按田、三ッ井
運営協力員：疋田健（東ヶ丘病院看護師）、坂本一樹（市立病院看護師）、
永洞政幸（市立病院作業療法士）

（12名）

【地域啓発事業企画小部会】

神薮（小部会長）、伊東、北本、及川、野本、池田、佐々、赤松、三ッ井

（8名）

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

三ッ井（座長）、赤松（事業担当）、小鍛冶（深川市）、野本（妹背牛町）、太田（秩父別町）、
内田（北竜町）、礪（沼田町）

（7名）

I 医療介護相談・在宅生活支援部会

○医療介護相談・在宅生活支援部会の担当

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①切れ目なく在宅医療と在宅介護を提供するための体制づくりの検討

○急変時診療体制の検討 ○夜間・休日診療体制の検討

○在宅での支援体制の検討 ○認知症施策の検討

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

①「北空知地域医療介護連携支援センター」の設置と運営

②医療・介護関係者、地域包括支援センターからの医療・介護連携に関する相談の受付・対応
(地域住民からの相談も直接受け付け、地域包括支援センターと連携調整する。)

③退院の際の医療及び介護関係者との連携調整と相互の紹介、他圏域病院との連携調整

④訪問看護等在宅サービスとの連携調整

⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

《令和2年度事業計画》

1. 令和2年度事業計画

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知

②相談コーディネート業務の充実

③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（関係者間の連携構築）

④訪問看護等在宅サービスとの連携調整

⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

2. 部会構成員（令和2年4月～令和3年3月）24名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	斉 藤 直 美	医療介護相談支援小部会長
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	大 場 久 男	在宅生活支援小部会長
副小部会長	深川市高齢者支援課地域包括支援係	立 川 智 章	医療介護相談支援小部会
	深川市健康福祉課課長補佐	村 田 真 紀	在宅生活支援小部会
委 員	深川医師会副会長	松 本 三 樹	吉本病院 院長
	北空知歯科医会副会長	中 神 宏 司	中神歯科医院 院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局
	北空知地域看護連携推進会議	田 村 禎 子	深川第一病院
	北空知介護支援専門員連絡協議会	高 橋 ゆ み	ふくしの窓口居宅

	北空知介護支援専門員連絡協議会	橋本和樹	深川市社会福祉協議会
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課救急救助係長	野村知哉	
	深川保健所企画総務課主査	山崎由紀子	
	北空知区域内介護事業所（深川市）	荒井恵	深川社協ホームヘルプ
	妹背牛町健康福祉課主査	南美也子	
	北空知区域内介護事業所（妹背牛町）	山崎雄大	居宅りふれ
	秩父別町住民課住民福祉グループ主幹	太田祥予	
	北竜町住民課保健指導係長兼介護予防係長	田中望美	
	北竜町住民課介護予防係（保健師）	内田奈保子	
	沼田町保健福祉課主査	山下広大	
	北空知区域内介護事業所（沼田町）	畠山美幸	沼田町社会福祉協議会
事務局員	深川市立病院地域連携室室長	村澤眞由美	
	深川市立病院地域連携室副室長	坂井良江	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐藤恵里	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ツ井隆博	

※部会の設置期間（令和2年度～4年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【医療介護相談支援小部会】

齊藤（小部会長）、立川（副小部会長）、中神、田村、荒井、高橋、山崎、南、内田、畠山、坂井、佐藤、三ツ井（13名）

【在宅生活支援小部会】

大場（小部会長）、村田（副小部会長）、松本、工藤、野村、橋本、山崎、太田、田中、山下、村澤、三ツ井（12名）

令和2年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役職	所属団体・役職	氏名	担当
センター長	深川市立病院副院長	新居利英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	吉田博昭	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	村澤眞由美	運営会議 医療介護相談・在宅生活支援部会
事務局長	深川市立病院地域連携室 地域連携係調査員	三ツ井隆博	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業等の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	坂井良江	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室副室長	赤松充敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤原智美	多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主査	尾中康晴	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐藤恵里	医療介護相談・在宅生活支援部会

3. 年間スケジュール

⇒新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ見直し調整する。

年月日	項目	内容
4月20日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和2年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
5月 日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6月 日	第1回協議会議	部会長→部会の議案説明

（医療介護相談・在宅生活支援部会）

年月日	項目	内容
4～5月 日	第1回部会	令和2年度事業計画及び運営体制（小部会）の協議
2月 日	第2回部会	令和2年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（医療介護相談支援小部会）

年月日	項目	内容
4～5月 日	第1回小部会	入退院支援研修会の企画ほか 第1回入退院支援研修会の開催協議
5～6月 日	第2回小部会	第1回入退院支援研修会の開催準備協議 （提供事例、開催要項・開催案内ほか）
7月 日	第3回小部会	第1回入退院支援研修会の直前運営協議 （ファシリ選任、グループ分け、進行ほか）
7月10日	第1回入退院支援研修会	
8月 日	第4回小部会	第1回研修会の振り返り・評価 第2回入退院支援研修会の開催協議
9月 日	第5回小部会	第2回入退院支援研修会の開催準備協議 （提供事例、開催要項・開催案内ほか）
11月 日	第6回小部会	第2回入退院支援研修会の直前運営協議 （ファシリ選任、グループ分け、進行ほか）
11月12日	第2回入退院支援研修会	
12月 日	第7回小部会	第2回研修会の振り返り・評価 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（在宅生活支援小部会）

年月日	項目	内容
4～5月 日	第1回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議 第1回事例共有検討会等の開催準備ほか
6月 日	第2回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議 第1回事例共有検討会等の開催準備ほか
8月 日	第1回認知症対応事例の共有検討会等の開催	第1回は認知症以外のテーマで行うことも考えられる
9月 日	第3回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議 第2回事例共有検討会等の開催準備
11月 日	第4回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議 第2回事例共有検討会等の開催準備
12～1月 日	第2回認知症対応事例の共有検討会等の開催	
1月まで終了	第5回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の取りまとめ 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

II 多職種連携・地域啓発部会

○多職種連携・地域啓発部会の担当

(1) 地域の医療・介護の資源の把握と情報提供

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報収集と整理
- ②地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドの作成とホームページ等での公開
- ③医療・介護関係者との情報の共有と活用、地域住民に対する情報提供

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催
 - ・関係団体の研修事業等との連携と活用による研修会の企画立案
 - ・各市町地域ケア会議等の活用による研修会の検討と実施
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

《令和2年度事業計画》

1. 事業計画

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の複数回開催の企画と運営
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

- ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整
- ・事業者向け研修会等の実施による普及推進
- ・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

2. 部会構成員（令和2年4月～令和3年3月）24名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター長	神 薮 早 智	情報共有・地域啓発小部会長
副部会長	沼田町保健福祉課主幹	森 田 秀 幸	多職種連携研修小部会長
副小部会長	北空知介護支援専門員連絡協議会（幸鐘会）	桑 原 薫	多職種連携研修小部会
	妹背牛町健康福祉課主査	野 本 里 恵	情報共有・地域啓発小部会
委 員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	深川医師会副議長	児 島 俊 一	児島医院 院長
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	岡 安 良 子	北海道ファーマライズ深川薬局
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中 澤 肇 子	深川市立病院薬剤課
	北空知地域看護連携推進会議	杉 谷 由 香	北海道中央病院
	北空知栄養士会会長	岡 本 恵	エーデルワイス
	深川保健所企画総務課主査	山 崎 由紀子	
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小鍛冶 真由美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係（保健師）	村 上 詩 歩	
	妹背牛町健康福祉課主査	末 岡 崇	
	北空知区域内介護事業所（秩父別町）	小 原 誠 司	和敬園居宅
	秩父別町住民課保健指導グループ主査	池 田 有里恵	
	北空知区域内介護事業所（北竜町）	村 井 恵	北竜町社会福祉協議会
	沼田町地域包括支援センター（介護支援専門員）	礪 宏 一	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤 松 充 敏	
	深川市立病院地域連携室地域連携係係長	藤 原 智 美	
	深川市立病院地域連携室地域連携室	尾 中 康 晴	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆 博	

※部会の設置期間（令和2年度～4年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【多職種連携研修小部会】

森田（小部会長）、桑原（副小部会長）、大谷内、中澤、杉谷、岡本、山崎、村上、末岡、小原、村井、藤原、三ッ井（13人）

運営協力員：疋田健（東ヶ丘病院看護師）、坂本一樹（市立病院看護師）、永洞政幸（市立病院作業療法士）（16名）

【情報共有・地域啓発小部会】

神薮（小部会長）、野本（副小部会長）、児島、伊東、岡安、北本、池田、礪、小鍛冶、赤松、尾中、三ッ井（12名）

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

三ッ井（座長）、赤松（事業担当）、鎌塚（深川市）、南（妹背牛町）、太田（秩父別町）、田中（北竜町）、礪（沼田町）（7名）

3. 年間スケジュール

⇒新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ見直し調整する。

年月日	項目	内容
4月20日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和2年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
5月 日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6月 日	第1回協議会議	部会長→部会の議案説明

（多職種連携・地域啓発部会）

年月日	項目	内容
4月 日	第1回部会	令和2年度事業計画及び運営体制（小部会）の協議
2月 日	第2回部会	令和2年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（多職種連携研修小部会）

年月日	項目	内容
4月 日	第1回小部会	多職種合同研修会の企画ほか
5月 日	第2回小部会	第1回多職種合同研修会の開催準備協議
6月 日	第1回多職種合同研修会	テーマ「お菓の話」
7月 日	第3回小部会	第1回多職種合同研修会の振り返り・評価 第2回多職種合同研修会の開催準備協議
9月 日	第2回多職種合同研修会・交流会	テーマ「認知症」
10月 日	第4回小部会	第2回多職種合同研修会の振り返り・評価 第3回多職種合同研修会の開催準備協議
12月 日	第3回多職種合同研修会	テーマ「未定」
12月 日	第5回小部会	第3回多職種合同研修会の振り返り・評価 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（情報共有・地域啓発小部会）

年月日	項目	内容
4月 日	第1回小部会	地域啓発事業の企画協議ほか
6月 日	第2回小部会	住民向け講演会・研修会等の協議ほか
8月 日	第3回小部会	地域住民フォーラムの開催準備協議 9月上旬に開催案内 (市町広報8月末原稿提出、10月号掲載)
10月 日	北空知地域住民フォーラム	秩父別町で開催
11月 日	第4回小部会	地域住民フォーラムの振り返り・評価ほか
1月まで終了	第5回小部会	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（地域リハビリテーション活動支援事業調整会議）

年月日	項目	内容
8月 日	第1回調整会議	今年度事業の中間評価と後半に向けての協議
2月 日	第2回調整会議	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

令和元年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業)決算

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	10,885,830	10,885,830	0	各市町負担金 深川市 4,751,808円 妹背牛町 1,624,857円 秩父別町 1,487,479円 北竜町 1,400,466円 沼田町 1,621,220円 計 10,885,830円
合計	10,885,830	10,885,830	0	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	8,276,000	8,276,000	0	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,524,000円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1=8,276,000円
連絡車両維持費	175,000	174,400	△ 600	年間車両レンタル料 523,200円/台×1/3(車両利用割合)≒175,000円
事業費	600,000	585,373	△ 14,627	北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議 I 医療・介護情報共有支援部会 II 退院調整・在宅生活支援部会 III 多職種連携・地域啓発部会 多職種合同研修会催経費 186,582円 住民フォーラム開催経費 90,192円 入退院支援研修会開催経費 43,304円 その他研修会等開催経費 53,054円 ホームページ更新・管理 131,100円 住民啓発パンフ作成費 37,251円 研修旅費及び受講料等 43,890円 多職種合同研修会の開催経費について、北空知介護支援専門員連絡協議会から30,000円の共催負担金を充当して計上 216,582円-30,000円=186,582円
事務費	460,000	483,951	23,951	事務費計 483,951円 消耗品・消耗備品 61,450円 介護新聞購読料 16,200円 郵送料 7,500円 連絡車両燃料費・保険料 40,008円 コピー機賃借及び使用料 358,793円 ※事務室及びパソコン等備品等使用料は含んでいません。
一般管理費	476,000	467,276	△ 8,724	(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)9,519,724円×10%=951,972円 > 467,276円【4.91%】 当初予算5% (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	898,830	898,830	0	消費税 9,987,000円×8%×1/2=399,480円 9,987,000円×10%×1/2=499,350円
合計	10,885,830	10,885,830	0	

令和元年度 地域リハビリテーション活動支援事業 決算

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,429,590	9,429,590	0	各市町負担金 深川市 5,356,769円 妹背牛町 1,141,356円 秩父別町 956,159円 北竜町 838,853円 沼田町 1,136,453円 計 9,429,560円
合計	9,429,590	9,429,590	0	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,471,000	7,471,000	0	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費 9,339,000円(作業療法士給与費実費額)×0.8区=7,471,000円
連絡車両維持費	418,000	417,252	△ 748	年間車両レンタル料 418,000円(イグニス)
事務費	350,000	350,202	202	事務費計 350,202円 消耗品・消耗備品 142,035円 連絡車両燃料費・保険料 67,338円 DVD作成費 29,900円 郵便料 16,080円 コピー機賃借及び使用料 44,849円 パソコン等使用料 50,000円 ※事務室等使用料は含んでいません。 ライスパワー体操のDVD作成費について、販売収入(100円×31枚=3,100円)を充当して計上 33,000円-3,100円=29,900円
一般管理費	412,000	412,546	546	(人件費+連絡車両維持費+事務費)8,238,454円×10%=823,845円 > 412,546円【5.008%】 当初予算5% (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	778,590	778,590	0	消費税 8,651,000円×8%×1/2=346,040円 8,651,000円×10%×1/2=432,550円
合計	9,429,590	9,429,590	0	

令和2年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業) 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	10,885,830	11,097,900	212,070	各市町負担金 深川市 4,902,248円 妹背牛町 1,637,919円 秩父別町 1,512,759円 北竜町 1,407,345円 沼田町 1,637,629円 計 11,097,900円
合計	10,885,830	11,097,900	212,070	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	8,276,000	8,372,000	96,000	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,611,000円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1=8,372,000円
連絡車両維持費	175,000	176,000	1,000	年間車両レンタル料 528,000円/台×1/3(車両利用割合)≒176,000円(ウイッシュ)
事業費	600,000	600,000	0	北空知地域医療介護確保推進協議会 協議会各会議体の開催経費、事業案内経費 運営会議 講演会・研修会等の講師謝礼・会場使用料・資料作成費など I 医療介護相談・在宅生活支援部会 パンフレット作成経費 II 多職種連携・地域啓発部会 ホームページ作成・更新・管理経費など
事務費	460,000	460,000	0	事務費(固定)460,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	476,000	481,000	5,000	当初予算(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)9,608,000円×5%≒481,000円 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	898,830	1,008,900	110,070	消費税(10%)10,089,000円×10%=1,008,900円
合計	10,885,830	11,097,900	212,070	

令和2年度 地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,429,590	9,616,200	186,610	各市町負担金 深川市 5,476,618円 妹背牛町 1,152,790円 秩父別町 987,007円 北竜町 847,380円 沼田町 1,152,405円 計 9,616,200円
合計	9,429,590	9,616,200	186,610	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,471,000	7,553,000	82,000	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費(令和2年度から複数で担当) 8,392,000円(事業従事割合による作業療法士給与費)×0.9人区≒7,553,000円
連絡車両維持費	418,000	422,000	4,000	年間車両レンタル料 422,000円(イグニス)
事務費	350,000	350,000	0	事務費(定額)350,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	412,000	417,000	5,000	当初予算(人件費+連絡車両維持費+事務費)8,325,000円×5%≒417,000円 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	778,590	874,200	95,610	消費税(10%)8,742,000円×10%=874,200円
合計	9,429,590	9,616,200	186,610	